



くわな市議会だより

桑名の太鼓職人

ゴンチキチンと街中に響き渡る太鼓と鉦(かね)の音。「日本一やかましい祭」といわれる桑名の石取祭。その石取祭に欠かせないのが長年の伝統を誇る桑名の太鼓です。太鼓は音が命。太鼓の本張りは、長年培った足裏の感覚を頼りに、納得のいく音が出るまで足で踏み伸ばします。伝統と技術が結集された太鼓作り。これを支える心の鼓動は、まちづくりに大きな役割を果たしています。

目次

2	政務活動費の使途状況を公開します	6	都市経済委員会の概要／一般質問
3	6月定例会の概要／議員別表決結果	7～10	一般質問
4	討論	11	高校生議会を開催しました
5	総務安全委員会の概要／ 教育福祉委員会の概要	12	桑名市議会からのお知らせ

桑名市議会からのお知らせ

9月定例会 開催日程(予定)

9月定例会が、9月7日(水)～10月4日(火)の28日間の予定で開催されます。

- 9月7日(水)
本会議(議案上程・提案説明)
- 9月13日(火)～16日(金)
本会議(議案質疑・一般質問)
- 9月20日(火)～29日(木)
常任委員会決算・特別委員会
- 10月4日(火)
本会議(委員長報告・討論・採決)

本会議・委員会の放映について

右の手順により、インターネット放映をご覧くださいことができます。

桑名市議会 [トップページ](#)

▼

[「市議会インターネット映像配信」をクリック](#)

▼

[「市議会インターネット映像配信」
http://www.kuwana-city.stream.jfit.co.jp/
をクリック](http://www.kuwana-city.stream.jfit.co.jp/)

※ご使用の環境によりご覧いただくことができない場合があります。
※アップル社のパソコンをお使いの方は、「フリップ4マップ」をインストールする必要があります。

桑名市議会議員政治倫理審査会の設置について

報道のとおり現職議員が逮捕されたことにより、市議会に桑名市議会議員政治倫理審査会を設置しました。今後、桑名市議会議員政治倫理条例に従い、協議を進めてまいります。

議会活動状況報告

※定例議会中の定例議会にかかる会議は省略しています。

6月	7月	8月
6日 全員協議会	14日 第152回三重県市議会議長会定期総会	2～ 総務安全委員会視察 (滋賀県近江八幡市、兵庫県尼崎市)
7日 各派代表者会議、議会運営委員会、議会改革検討会	15日 都市経済委員会視察(愛知県名古屋市)	3日 (滋賀県近江八幡市、兵庫県尼崎市)
10日 広報広聴委員会、議会報告会班長会議	19日 桑名市議会議員政治倫理審査会	4日 広報広聴委員会
14日 6月定例会(閉会7月4日)	20日 第73回北勢5市議会懇話会	8日 北勢5市議会合同研修会
29日 広報広聴委員会	26日 広報広聴委員会	12日 教育福祉委員会
	27～ 教育福祉委員会視察 (栃木県那須塩原市、千葉県習志野市)	18日 総務安全委員会
	28日 都市経済委員会 議会改革検討会	19日 議会改革検討会
		20日 高校生議会
		22日 都市経済委員会
		25日 桑名広域清掃議会第2回定例会 桑名・員弁広域連合議会第2回定例会
		30日 全員協議会
		31日 各派代表者会議、議会運営委員会

広報広聴委員会

委員長 倉田 明子
副委員長 満仲 正次
委員 伊藤 善隆、松野 正美、市野 隆一、畑 正紀、中村 紀三、箕浦 逸三、満仲 正次、倉田 明子

読者の皆様、お気づきになりましたか？今回の議会では、オールカラーとなり、写真など見栄えがよくなりました。今後は、読みやすさを重視し、改善を行います。ご意見、ご要望等ございましたら、議会事務局までお寄せください。

お問い合わせ gikaijm@city.kuwana.lg.jp

皆様のご意見をお寄せください

読者の皆様、お気づきになりましたか？今回の議会では、オールカラーとなり、写真など見栄えがよくなりました。今後は、読みやすさを重視し、改善を行います。ご意見、ご要望等ございましたら、議会事務局までお寄せください。

桑名市議会事務局

〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話:0594-24-1304/0594-24-1305
FAX:0594-24-1359
メールアドレス:gikaijm@city.kuwana.lg.jp

▼ 審査案件 委員会開催日:6月24日(審査件数:9件)

- 議案第48号 専決処分の報告及び承認を求めるについて(平成27年度桑名市一般会計補正予算(第9号))
- 議案第49号 専決処分の報告及び承認を求めるについて(平成28年度桑名市一般会計補正予算(第1号))
- 議案第50号 専決処分の報告及び承認を求めるについて(桑名市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について) ほか6件

Q 当該土地(旧多度町宮野球場)の、売却後の使われ方は。相手方からは、少年野球の練習場として使いたいとのこと。

土地の処分についてに対する質疑

A 400枚である。

Q ◆個人番号カード交付事業費について
マイナンバーカードの交付件数は、

A 国から市へ届いているマイナンバーカードが約1万枚あるが、市から本人への交付には予約制をとっており、本人に通知を行ったのが約4,400枚、うち交付が済んでいるのが約2,400枚である。

Q ◆男女共同参画推進事業費について
今回新たに行うセミナーの来年度以降の予定は。

A 今年度、三重県文化振興事業財団の助成金を活用し、働く女性を対象としたセミナーを行うが、来年度以降は、事業の進捗状況を踏まえ、財源も含めて検討していく必要があると考えている。

Q ◆セミナー等の参加者の、継続的な活動を支援する取り組みは。将来的には、市内の事業者や市民活動団体と連携しながら、活動の機会を設けられるよう今後の事業内容を検討していきたい。

A セミナー等の参加者の、継続的な活動を支援する取り組みは。将来的には、市内の事業者や市民活動団体と連携しながら、活動の機会を設けられるよう今後の事業内容を検討していきたい。

平成28年度桑名市一般会計補正予算(第2号)所管部門に対する質疑

▼ 主な質疑

▼ 審査案件 委員会開催日:6月24日(審査件数:9件)

- 議案第53号 専決処分の報告及び承認を求めるについて(桑名市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)
- 議案第54号 平成28年度桑名市一般会計補正予算(第2号) 第1条 歳入歳出予算中 所管部門
- 議案第55号 平成28年度桑名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) ほか6件

Q 大山田南学童保育所を旧大山田南幼稚園に移転させると、幼児が使っていたものを児童が使うことから、かなりの整備が必要だと思つたが、現在の状況は。

桑名市学童保育所条例の一部改正についてに対する質疑

A ハード面については通学路交通安全プログラムを活用し、再点検を行い、各学校からの要望を受け、精査している。一方で、横断歩道の状態にかかわらず、子供たちは気をつけて渡らなければならないので、交通安全の指導として地域を回ることは意義深いものだと考えている。

Q ◆共生の地域づくり事業について
事業内容の詳細は。

A 3回のワークショップを通して地域の課題や必要とされる取り組みについて自治会や地区社協などの方が話し合い、それを実際に社会実験として行ってもらうことを考えている。また、その内容等の報告会も兼ねた市民向け講演会を行いたいと考えている。

Q ◆学校防災・防災教育推進事業について
交通安全もということだが、保護者から要望がある横断歩道も設置していない中、机上だけの話ならばわざわざ事業を行う必要はないのではなか。

A 予算がないと言われることが多いが、自治会やPTAからの要望や議会からの意見もある。市ができることをした上で、こういう事業は行うべきだと思つた。

Q ◆桑名市学童保育所条例の一部改正についてに対する質疑
施設整備については、平成28年度の当初予算として認めていただいている。今の段階で期日については言えないが、できるだけ早く移転をしたいと考えている。保護者の意見をしっかりと聞きながら、整備に取り組みたい。

A 施設整備については、平成28年度の当初予算として認めていただいている。今の段階で期日については言えないが、できるだけ早く移転をしたいと考えている。保護者の意見をしっかりと聞きながら、整備に取り組みたい。

平成28年度桑名市一般会計補正予算(第2号)所管部門に対する質疑

▼ 主な質疑

■ 日本共産党桑名市議団

21議案中3議案に反対

議案第54号

「個人番号カード交付事業費増」は、個人情報が入りに集約されメリットよりもデメリットの方が大きいマイナンバー制度の推進である。「小中一貫教育推進事業費」は、うまくいっている学校だけを視察するもので、多くの問題をもっている小中一貫教育は、住民・自治会・教職員・保護者・児童生徒の多くの意見を取り入れて総合的に判断していくべきである。「人権教育推進事業費増」は、道徳教育総合支援事業で、道徳の教科化が狙いであり、教職員に余分な負担を強い、教育の右傾化につながるものである。

議案第58号

マイナンバー制度には、多くの問題点もあり、解決されていない。福祉の部門でも、個人番号を利用するためマイナンバーを書かせようとしている。

議案第60号

保育士配置基準を低下させることは保育に格差をつくるものであり、容認できない。第3条、市長は最低基準を常に向上させるように努めるものとする。

討論

今回の市議会だよりから、討論の内容を掲載します!!

討論とは…

市議会に提出された議案等を採決する前に、議員が案件に対して、賛成又は反対の意見を表明するのが討論です。討論から、議員がなぜ賛成するのか反対するのか、といった理由を知ることができます。



■ オリーブ

安倍首相と山口ナツオ代表の背後にヒトラーの亡霊が

54・58号の2議案に反対の理由は、マイナンバーで集め、米国以上に市中へ供給している400兆4,700億円のお金を、弱者を切り捨て市民生活に行き渡らせず、軍事・原発独占資本とタックスヘイブンを利用できる一部の富裕層に独占させており、また星見ヶ丘小道徳予算は、その公開授業内容に集団的自衛権を連想させる『集団生活』、一億総玉砕を想起させる『最後まで守る』等が含まれ、政府・文部科学省の下に道徳を置くといかにそれがダラクするか、は71年前教科書にスミをぬった事実が証明しているのである。以上1954年、すでに新しいファシズムと指摘された米国と組む侵略戦争のためのマイナンバーや道徳・核兵器容認教育をあやつる安倍・山口氏の背後に、ヒトラーや東条の亡霊が見えるのである。

■ まちづくり戦略室

議案第54号 平成28年度桑名市一般会計補正予算(第2号)に賛成

◆疑問を感じる予算案 → 款3民生費 項1社会福祉費コミュニティ助成事業費 500万円

500万円のうち、ワークショップ等開催支援業務委託費、すなわち468万円余がコンサル料金として計上されている。

◆疑問を感じるが認めざるを得ない予算案 → 款3民生費 項2児童福祉費 1千350万円

学童児童数増加に対応するため、テラス増築のための予算として47万円が計上されている。

◆すなおに賛成できる予算案 → 款10教育費 項1教育総務費 児童生徒指導事業費 学校防災教育事業費 376万2千円

中学生20名が陸前高田市で3泊4日の災害ボランティア活動・発表をするための予算。

コンサルへの予算案は疑問を感じるが、平成28年度補正予算案1億6千802万5千円全体とすると、市民生活に欠かすことができない予算が大半を占めていると考えられるので賛成する。

一般質問

フォーラム新桑名 松田 正美

◆東日本大震災から5年を経て

質問 桑名市の防災上の課題と施策について、災害から市民が身を守るため特に長島・城南両地区の市としての対策を問う。

答弁 災害から人命の安全を確保するため、長島地区では東名阪自動車道の法面を活用した緊急避難施設12か所が今年5月から運用を開始した。

また、城南地区では河川防災センターを建設した。長島地区の場合、東名阪道が災害時の水被害をくいとめる大きな役割を果たすと予想できる。しかし名阪より海側の地域はどうか。

再質問 民間施設といっても現状では限られている。命山(盛土の人口丘)を造成するといった方策を講じるべきだと思う。ぜひ早急に進めていただきたい。

再答 自治会と連携・協議し、民間施設等の確保に努めたい。

新志会 大橋 博二

◆サミットのまちとしての今後の方向性について

質問 伊勢志摩サミットでは桑名の千羽鶴が展示された。ジュニア・サミットでも好評をえた。折り紙は世界共通語であるが、当市で折り紙サミットを開催されたらどうか。

答弁 ジュニア・サミット桑名市民会議の参画団体にも案内し、検討していきたい。この機会に培ったネットワークを活かし、ジュニア・サミットの寄付金や地方創生の交付金も活用し、新たなスタートとして取り組みを進める。

◆犬猫殺処分ゼロについて

質問 大阪市の事例、所有者不明猫適正管理推進事業、猫適正管理サポーターの仕組みの紹介、ボランティア活動について。

答弁 2市5町で平成27年度は、犬14頭、猫202匹の殺処分がおこなわれた。今後、飼育が出来なくなった犬、猫の譲渡支援や、飼い主のいない猫の繁殖抑制活動等を行っている、ボランティア団体と連携する。

公明党桑名市議員団 竹石 正徳

◆若者の政策形成過程への参画について

質問 若者が社会における影響力を実感できる取り組み、若者の声を市政に反映する取り組みについて。

答弁 若者がまちづくりや市政に参画する手法の検討や、若者の可能性を伸ばす取り組みを進めることが、これからの桑名市の活性化につながるものと考えます。

◆予防接種について

質問 本年10月から、0歳児対象にB型肝炎ワクチンの定期接種が始まる予定、大人になってB型肝炎ウイルスによる、肝硬変・肝臓がん罹患する多くの方は、3歳までに感染しキャリアになった為だと言われている(1歳未満90%、1~4歳20~50%、それ以上1%以下)、1~3歳児へのB型肝炎ワクチンの市独自の助成制度について。

答弁 B型肝炎ワクチンに対する市独自の助成制度を設ける場合、費用負担のあり方や市の財政的な見地等の課題があり、慎重な判断が求められる。

桑風クラブ 佐藤 肇

◆桑名ジュニア・サミットの総括及び今後について

質問 危惧されたソフトターゲットと言われる件も含め事故もなく市民参加も得て無事に終わったことは喜ばしい。サミット本体を含め桑名市・三重の知名度も上がり、今後の誘客等を含めポスト・サミット事業に期待しているが、計画は?また、次世代へ継承するための手法等は?

答弁 県では、今月補正予算でポスト・サミット事業の取り組みが予算計上され、富裕層等の外国人観光客を取り込むためサミット開催地を活かしたパンフレットの作成や国際会議MICE誘致事業として宿泊助成等に取り組む計画である。県と歩調を合わせ、ジュニア・サミット開催地を前面に、事業展開を図っていきたい。次世代への継承としては、記録誌作成、動画や写真をまとめたDVD作成を進めている。

再質問 継承策としてG7参加各国を代表する樹木を市内公園に記念樹として植樹してはどうか。

再答 開催場所で平和を象徴するオリーブの植樹が行われたが、ご提案に関しては検討していきたい。

▼審査案件 委員会開催日:6月25日(審査件数5件)

- 議案第54号 平成28年度桑名市一般会計補正予算(第2号)所管部門
- 議案第56号 平成28年度桑名市水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第62号 桑名市再資源化推進施設条例の一部改正について ほか2件

▼主な質疑

平成28年度桑名市一般会計補正予算(第2号)所管部門に対する質疑

◆基盤整備促進事業費について

Q 当初の計画と今後の見直しは。農地の集積などを進め、担い手の確保などの根本的な課題を考えた上で、基盤整備に取り組むとともに、お金を出さずにはなれない。知恵を出していい方向にもっていかたい。

A 農地の集積、汎用、省力化を進め、高生産農業が可能となる土地基盤の整備を目的としており、主に用・排水路を整備するもので、平成24年度から国の補助を受けて始まった事業である。この多度町野代地区については、現在までに、排水路89%、用水路26%の整備が完了している。今年度終了予定であったが、資材の高騰や湧き水の処理などにより、来年度以降も工事が残ってしまうことになりそうだが、地元への支援や協力を得ながら事業を進めていきたい。

平成28年度桑名市水道事業会計補正予算(第1号)に対する質疑

Q 固定資産売却について、当初購入するに至った目的と購入金額は。

A 昭和48年に第四次水道拡張南部配水池用地のため取得したもので、面積は7筆で合計3,220平方メートル、この時の台帳価格は29万2千3,830円であった。その後、昭和61年に、換地処分のため9筆に分筆され、面積は2,075.71平方メートルに、さらに平成6年に分筆登記を行い、その登記費用が50万円、帳簿価格は34万2千3,830円となっている。

桑名市再資源化推進施設条例の一部改正についてに対する質疑

Q 今後の生ごみの処理は。
A 生ごみ処理機等の補助は継続していく。今後は、たい肥化技術や、他市町の先進事例を参考にしながら検討していく。

一般質問

絆 中村 浩三

◆予防接種について

質問 子宮頸がんワクチンの被害がニュースになっているが、市独自で調査する予定はないか?

答弁 市内での副反応による健康被害はない。市独自で調査する予定はない。

質問 予防接種の増加と自閉症の増加は関連があるのではないかと?

答弁 自閉症が増加しているのか、してないのかは、見解が様々であるため回答することはふさわしくない。

質問 本年10月に定期接種化が始まるB型肝炎ワクチンも危険性が指摘されているが。

答弁 100%安全な予防接種はないがB型肝炎ワクチンの安全性に特別な問題があるとは認識していない。

◆展示会・国際会議等誘致について

質問 ジュニアサミットの成功に続いて、国際会議を誘致できるように助成制度を作ったらどうか?

答 前向きに検討していきたい。

◆日本赤十字について

高 自治会が集金を手伝っているのはなぜか?

答 法の定めはないが昔からの慣行でお願いしている。

まちづくり戦略室 伊藤 研司

◆「子どもを3人育てられるまち」を実現する為に!

質問 日本国憲法第26条第2項では「義務教育は、これを無償とする」とある。

しかし、現実に学校生活に必要な支出(授業以外の部分)は、公立の小学校で一人当たり年間約10万2千円、中学校では約16万7千円かかる。

勿論、要保護・準要保護世帯の児童・生徒には、支援制度がある。しかし、それなりに所得がある世帯でも、小学生1人、中学生2人いる世帯では年間約43万6千円必要となる。

安心して学校生活を送るには、義務教育費への支援制度が必要と考える。

答弁 厳しい財政状況の中、桑名市単独で無償化することは困難な状況。しかし、憲法では子ども達に普通教育を受けさせることを義務としている。子ども達の就学の機会を保障するためにも、家庭の経済力に関わらず、できるだけ軽減する配慮が望ましいと考えている。市教育委員会としては、関係部局と連携を図りつつ、保護者の負担軽減について今後、研究してまいりたいと考えている。

一般質問

桑風クラブ 市野 善隆

◆子育て支援策医療費助成について

質問 当市の制度は県北勢市町で下位。人数・所得等に
関係なく中学生までの医療費を対象とすべき。

答 経費を考慮し慎重な対応が必要で県へ要望する。

◆国民健康保険事業「県広域化」と支払準備基金及 び保険税率について

質問 平成30年度に国保事業は県広域化される。県も
保険者となり県下標準の「標準税率」を示すが、税
徴収・保健事業は市町で行うため市の事務に大きな
変化はない。国保支払準備基金は、H18年度末に底
をつきH19年度には大幅に税率を上げ国の特別調
整交付金等を積み立てる等して12億2900万円余の
残高がある。広域化で速やかに標準税率に統一等さ
れることはないと考えられ、将来的予測が可能であ
れば、基金を取り崩し支払医療費に充て保険税率を
下げるべきではないか。

答 県から標準保険税率が示された段階で基金の取り
扱い等を考えていきたい。

問 保険税率の値下げを視野にしているのか。

答 全体像が示される中で会議等にも参加し検討する。

新志会 飯田 尚人

◆学童クラブ(保育所)の現状と今後について

質問 大山田東小校区「学童保育所じゃんぼI・II」は
学童数が年々増え続け施設定数を遙かにオーバーし
ている問題が有るが、他の学童保育所での問題を含
めた現状と今後の展開方針について問う。

答 学童保育所は今年度には26か所となり、多い所は
大山田東小校区2施設106名、少ない所は桑部・在
良小校区で共に7名、市としても現況解消の必要性
を感じ様々な方策を検討している。

再質問 市長は以前「学童保育所は学校の敷地内で」と発
言されたが大山田東小学校の敷地内で校舎増築工事
完成後のプレハブの学童保育所利用について。

再答 学童保育所は学校の敷地内が良いと考えるので
プレハブを利用する事も含めて検討して行く。

◆予算規模の増大について

質問 2015年は当初予算が500億円を超え2016年は過
去最大となったが財政健全化の考えを問う。

答 土地開発公社解散や新病院整備等により予算増と
なった反面、財政改革で10億円近い基金増が見込ま
れる。一般財源ベースの歳出も2年連続で削減した。

一般質問

オリーブ 大森 啓

◆公共施設マネジメントについて

質問 ①市所有のバスの市民への貸し出しについて
②活用していない施設などについて

答 ①市の事業推進上、公益性がある場合に所管課職
員が搭乗するなど、市の業務上、公用に限る制約は
あるが要件を満たせば可能である。

②長島地区旧幼稚園舎については、公共施設マネ
ジメント課が年度末に向けて策定中の「公共施設等
総合管理計画のアクションプラン」において位置づ
ける方向である。

◆防災施設及び運用について

質問 万が一の際に、様々な諸事情をお持ちの市民の皆
さんが身を寄せる避難所の円滑な運用の訓練のため
の、静岡県が開発したHUG(避難所運用ゲーム)の導
入について。

答 HUGは、乳幼児、女性、高齢者などの方々に対す
る配慮を模擬訓練を通じて体験するものであり、災
害時に有効な訓練である。自主防災のリーダーを対
象に訓練してもらうことが重要である。

日本共産党桑名市議団 星野 公平

◆市民の意見をどう汲み上げていくのか。

質問 税金で建てる「駅舎」、「駅周辺土地利用構想懇話
会」は何故公開されないのか。

答 「駅舎」に関する機能や配置等については、各鉄
道(近鉄、JR東海)事業運営上の企業情報並びに、
鉄道運営上の安全情報に該当するので、桑名市の条
例により非開示としている。「懇話会」は、各有識者
(都市計画・経済・観光・交通等)から自由な意見
交換の上、助言・提言をもらうことを前提に意思形
成の確保のため非公開にしている。素案ができれば
市民に諮っていく。

再質問 「子ども・子育て会議」は、委員との間に信頼関
係はあるのか。

答 委員の意見を聞きながら、委員会と行政が一緒
になって築き上げてきた過程をしっかりと受け止め、
今後の会議で意見を頂き、市民に周知を図っていく。

再質問 「学校教育あり方検討会」は、地域の声、教職員
の声をどう取り上げていくのか。

答 選ばれた委員で、幅広く学校教育に関して意見を
頂ける。小6、中1、教職員、市民にアンケート。

日本共産党桑名市議団 石田 正子

◆介護保険について

質問 介護保険制度変更に伴う問題点について。

①総合事業の実施内容について。

答 総合事業は、地域の実情に応じて、住民等の多様
な主体が参画し、多様なサービスを充実すること
により、地域の支え合いの体制づくりを推進し、要支
援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能に
することを旨とするものである。

今後、総合事業を進めていくには、サービスの周
知に努めると共に、サービス利用につながらない原
因を分析することでサービスの制度設計についても
検討が必要であると考えている。

◆国民健康保険広域化について

問 広域化に向けてのスケジュールについて。

答 平成30年度からは、都道府県が財政運営の責任
主体となる。三重県では、県と10市町国保連合会を
29全市町に拡大し、連携会議に4つの作業部会を設
置して準備を進めている。本年10月ごろに、納付金
と標準保険税率の試算が始まり平成29年秋ごろに
決定の予定。これをもとに市で検討する。

公明党桑名市議員団 畑 紀子

◆防災対策～耐震シェルターについて

質問 熊本地震後、寝室に耐震シェルター設置をしたい
と設置補助を市に問い合わせたところ今年は無いと
言われたと市民相談あり。なぜ今年は無いのか。今
後はどのように考えているのか。

答 近年は平成26年度に1件制度の利用あり。今年度
は、過去の実績が伴わないことから県への補助申請
が厳しくなっており予算計上見送った。熊本地震直
後から耐震シェルターの問い合わせが多くあり、今
後は補正対応や来年度予算計上を行えるのか調整し
ていく。

◆投票率の向上について

質問 18歳以上への選挙権年齢拡大に係る市の取り組
みについて問う。①投票しやすい環境の整備につ
いて。②共通投票所等について。

答 ①これまで投票所へのスロープや靴のまま入場
できる環境整備等をしてきた。法改正により同伴す
る18歳未満の子どもの入場ができることなど周知し
投票しやすい環境整備に努める。②通信回線設置費
用や安定性の問題から設置予定はしていない。

絆 富田 薫

◆少子高齢化人口減少社会について

質問 ふるさと納税で『こどもを3人育てられるまち』
にするため、市外から7280万円のありがたいご寄
付を頂いた。寄付を頂いた方の気持ちに答える義務
が桑名市にはあると思う。ふるさと納税の寄付金で
10年間の保育料の無償化がすでに決定しているま
ちもある。『3人育てられるまち』にするためにどの
ような施策をうって市民に還元していくのか？

答 個人への給付は難しいので、充当事業については
担当課の意向を聞いて考える。

再質問 どんな事業が出生率向上に与えているかを出生率
の高いまちベスト30のアンケート結果をまとめて
いくと、出生率向上のためには『こども医療費・保
育料・出産祝い金・就学支援金』などの経済的支援
策の効果があつたと答えている市が多いがこれらの
経済的な支援を行っていく検討はされないか。また
ふるさと納税の基金を使つての検討はできないか。

答 子育て支援を安定的に行うためには、安定してい
てなおかつ恒久的に行える財源が必要になるために、
いまのところ桑名市では難しい。

まちづくり戦略室 小川 満美

◆随意契約ガイドラインの見直しについて

質問 地方自治法第234条では、売買・請負などの契約は、
一般競争入札を行うのが基本で、一般競争入札がで
きない、あるいは、適さない場合に限って随意契約
ができるとしている。随意契約ガイドライン第4条
第1項第2号のオに「基本設計委託後の実施設計委
託を基本設計施行業者に行わせるとき」とある。基
本設計と実施設計は別のもので、それぞれ一般競争
入札し、基本設計を行った業者とは別の業者が落札
することもある。

随意契約ガイドライン第4条第1項第2号のオ
は、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の
拡大解釈ではないのか。

答 ガイドラインに示したものは、直ちに随意契約を
適用すべきとする趣旨ではない。基本設計を作成し
た業者が実施設計を行うことで、知識や経験がその
まま活かされるなど、時間的、経済的な観点からコ
スト削減が見込まれると判断した場合に限り契約を
締結し、事務を行っている。

平成28年8月20日(土)に市内外6校から18名の高校生が参加し、高校生議会を開催しました。

この高校生議会は、7月に行われた参議院議員選挙から、選挙権年齢が18歳以上となったことを受け、桑名市の次代を担う高校生に、身近な市政や市議会への理解と関心を高めてもらうことを目的に開催しました。

高校生からは、現在市が直面している課題や、日常生活に関すること、また、4月に行われたジュニア・サミットに関連したもののなど、6議案が提案され、市議会議員と活発な議論を交わしました。

提出された議案は、それぞれ採決が行われ、いずれも可決し、高校生議会は閉会となりました。

高校生議会を開催しました!!



桑名北高等学校
「ローカル鉄道(養老鉄道、三岐鉄道北勢線)の利用者増や活性化」



桑名工業高等学校
「桑名市の路上喫煙について」



桑名高等学校
「自転車にやさしい街づくり事業」



津田学園高等学校(6年制)
「桑名駅の改善」



桑名西高等学校
「桑名市を訪れる外国人におもてなしを!」



暁高等学校(6年制)
「ジュニア・サミット後の桑名市が取り組むべき旅行者へのおもてなし」

まちづくり戦略室 箕浦 逸郎

◆桑名駅周辺整備について

質問 自由通路、橋上駅舎化の整備に伴って、既存の駅西側の駐輪場がなくなると聞いている。北側駐輪場だけでは、駅西利用者にはかなり不便になるが、新たな駐輪場は整備していくのか?

答弁 既存の駅西無料駐輪場は徐々に縮減をしていく予定。今後、鉄道事業者といった民間事業者により設置頂けるよう誘致等を行っていく。

◆駅西の集団移転用建物について

質問 駅西整備プログラムの要である集団移転用建物は今年度中に整備する予定だが、本当に今年度中に完成するのか?

答弁 本年度内の完成は厳しいと考えている。今後は民間からの事業提案も含め進めて行く。

◆公共施設の再編について

質問 今年度中に今後10年間の公共施設の再編計画(アクションプラン)を策定する予定だが、計画策定にどのように地域住民が関わっていけるのか?

答弁 計画策定段階においてワークショップを開催するなど、市民の皆様のご意見をお伺いする。

オリーブ 伊藤 恵一

◆本当の敵は[国内]にいる

質問 北核実験抗議以前にまず、広島原爆168発分の(福1爆発)放射能を国民に浴びせた政府に抗議すべきでは。

答弁 2013年に米の核性能実験にも抗議、今後も原発安全確保の取組を注視して参る。

◆桑名の蛤が日本一であるということはすなわち世界一!

質問 世界農業遺産登録にチャレンジされてはいかが!? 世界農業遺産に認定されると農水産物のブランド化、観光やインバウンドにもつながる。要件はあるがまず魅力的な農水産資源作りを支援して参りたい。

◆《桑名超タックスハイブン市》と改名してはいかが

質問 図書館P.F.I.は固定資産税3億円を自ら払わず市が6億!?立替払い。差引3億「行方不明」でもお構いなし!!タックスハイブンも真っ青な欠陥商品では。

答弁 経済情勢等の変化への対応、また運営面で様々により魅力的な図書館となるよう取り組んで参る。



桑名市議会高校生議会参加者

まちづくり戦略室 岡村 信子

◆市総合計画と副市長の職責は?

質問 副市長の職責は、事務方を総括すること!直接、市民と関わっている市職員の声に耳を傾けること! 7つのビジョンでは、新病院は平成27年4月開院が3年も大幅に遅れ100億円以上の事業費増額に追い込まれる大失態!更には、総合計画にもない桑名駅から新病院までの上空通路を整備する市長の夢を実現したい考え。市長は、大型公共事業に市議時代に真っ向から反対したが、上空通路までも整備したいと大きく方向転換。駅東西自由通路に加え上空通路まで整備するには、150億円以上?の事業費が必要。この財源を14万人余の市民の生活に直結した福祉・教育・安心安全に使うべき。3月議会に副市長の職責を質問したところ「副市長は市長の夢を実現すること」と答弁しましたよね。その思いは今でも変わっていないのか!副市長、答弁を!

答 市長のために働くのが副市長の職責である。

再質問 副市長の職務は、市民の声を市長に伝えるのが職務ではないのか?再度、尋ねる。

答 市長のために副市長の私がある。